

跳跳蛙
日语读库



にほんご よむよむ文庫

Vol.1 **1** **5** ^{わら} ^{ばなし} 笑い話



NPO法人 日本語多読研究会 主编
(日) 山崎 俱子 缩写
雾生 早苗 插图

跳跳蛙
日语读库



にほんご よむよむ文庫

Vol.1 1⑤ 笑い話

NPO法人 日本語多読研究会 主编
(日) 山崎 俱子 缩写
雾生 早苗 插图

外语教学与研究出版社
北京

京权图字: 01-2008-1936

© Originally Published by ASK Co., Ltd., Tokyo Japan

图书在版编目(CIP)数据

跳跳蛙日语读库. Vol. 1. 1⑤ / 日本NPO法人日本語多读研究会主编. — 北京: 外语教学与研究出版社, 2008.5

ISBN 978-7-5600-7505-1

I. 跳… II. 日… III. 日语—自学参考资料 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2008) 第 064632 号

出 版 人: 于春迟

责任编辑: 刘 军

装帧设计: 王 军

出版发行: 外语教学与研究出版社

社 址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址: <http://www.fltrp.com>

印 刷: 北京国邦印刷有限责任公司

开 本: 880×1230 1/32

印 张: 0.875

版 次: 2008 年 7 月第 1 版 2008 年 7 月第 1 次印刷

书 号: ISBN 978-7-5600-7505-1

定 价: 27.90 元 (全五册)

* * *

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话: (010)88817519

物料号: 175050001

日本語を勉強しているみなさんへ

「にほんごよむよむ文庫」は、

日本語を勉強しているみなさんのための「読みもの」シリーズです。

楽しみながらたくさん読んでください。

わかるものをたくさん読むと、知らないうちに漢字の読み方や言葉が身につきます。

読んだ話をCDでも聴いてみてください。読みながら聴いてもいいですよ。

目からも耳からもどんどん日本語を吸収しましょう！

「にほんごよむよむ文庫」4つのルール

- 1 やさしいレベルから読む。
- 2 辞書を引かないで読む。
- 3 わからないところは飛ばして読む。
- 4 進まなくなったら、他の本を読む。

星をとる^{ほし}

夜^{よる}です。

庭^{にわ}に子^こどもがいます。

空^{そら}に星^{ほし}があります。

たくさんあります。

とてもきれいです。

子^こどもは空^{そら}を見^みます。

「うわあ、きれいな星^{ほし}！」



こ
どもは星がほしいです。

ほし
星がとりたいです。

ぼう
棒でとります。

なが
長い棒です。

ほし
「星がほしい！」

ほし
星がとりたい！」



お父さんとうさんが来きます。

そして、言いいます。

「だめだめ。その棒ぼうは長ながくない。短みじかいよ。

星ほしは遠とほいよ。だから、だめだめ。そこはだめ。

屋根やねの上うへがいいよ」





だれが早い？

「うぐいす」は、春の鳥です。

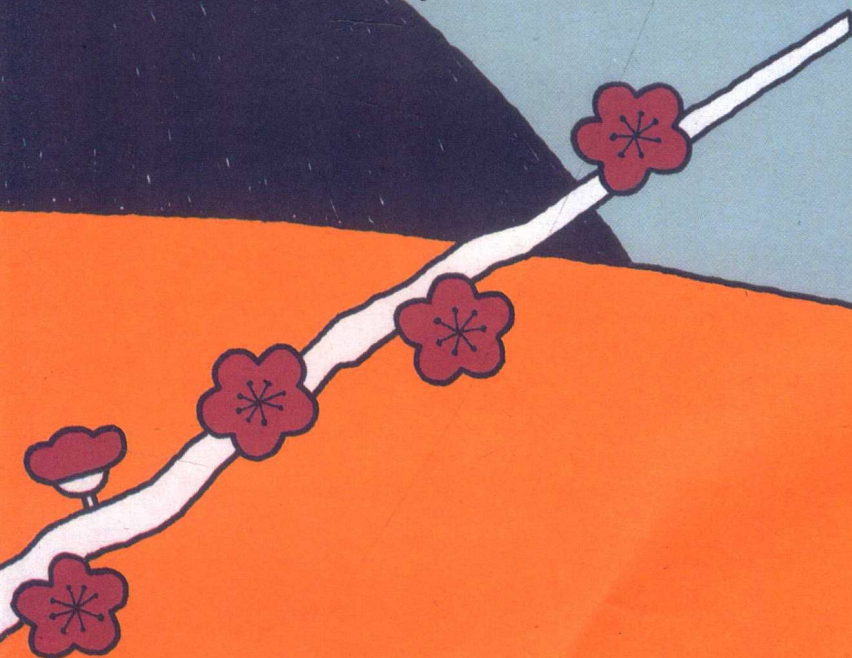
春に鳴きます。

うぐいすの声は、「ホーホケキヨ」です。

とてもきれいな声です。

みんな、早くうぐいすの声が聞きたいです。

今年も春が来ました。





一郎の家いちろう いえに、

二郎、三郎、四郎、五郎が来きました。

五人は一緒いっしょにお酒さけを飲のみます。

一郎いちろうが言いいました。

「私わたしは今朝けさ、うぐいすの聲こえを聞ききましたよ。

今年ことしは、私わたしが一番早いちばんい！」

二郎じろうが言いいました。

「いいえ。それは早はやくないですよ。私わたしは

昨日きのうの朝あさ、聞ききましたよ。私わたしが一番早いちばんい！」



次に、三郎が言いました。

「いいえ。それは早くないですよ。私は

一週間前に聞きましたよ。私が一番早い！」

四郎が言いました。

「それは早くない。私は一か月前に

聞きました。私が一番早い！」

五郎が言いました。

「みんな、早くない、早くない。遅い、遅い。

私は、去年の春に聞きましたよ」





お金^{かね}がありません

これは、秋夫^{あきお}と春子^{はるこ}の

うちです。

うちの近く^{ちか}に川^{かわ}があります。

そこに舟^{ふね}があります。

秋夫^{あきお}の舟^{ふね}です。

まいにち
毎日、たくさんの人が

あきお ふね の
秋夫の舟に乗ります。

そして、

あきお かね
秋夫はお金をもらいます。

あきお しごと
これが秋夫の仕事です。



はるこ 春子はうちの仕事をします。

まいにち 毎日、掃除をします。洗濯をします。

はん つく ご飯を作ります。

あきお はるこ 秋夫と春子は、二十年前に結婚しました。

はるこ にじゅうねんまえ 春子は二十年前、きれいでした。

いま わか でも、今は若くないです。

もう、きれいじゃありません。

あきお 秋夫はもう、

はるこ す 春子が好きじゃありません。





ある日、秋夫は春子に言いました。

「あなたは、もう、きれいじゃありません。

私はもう、あなたが好きじゃありません」

春子は言いました。

「わかりました。

では、私はこのうちを出ます。

私の母はまだ元気です。

私は母のうちへ行きます」

春子は、きれいな着物きものを着きました。

化粧けしょうもしました。

今は、とてもきれいです。

春子は言いいました。

「じゃあ、さようなら」

秋夫は春子を見みました。

そして、小こさい声こえで言いいました。

「春子はとてもきれいだ!」

でも、春子はるこは、今いまからお母かあさんの

うちへ行いきます。

